

大阪錦画新話

第九十号

西京下京第二十五門屋町二丁目

金網職営業 天良から娘はる當二十一才

あるが親類より養子男相すくえたる所内縁の男有る

ゆる心お染されども親と親類をえんと承知しるる也

吉日をえらみ婚姻の取給ひ定まり

それほる車 右内縁の男(心おだててあ

あゆもらる寺町四茶大雲院寺内

元親の墓所おをりて明治八年

第七月二十七日あつたのころ有明

の月とくのも刺刀ありて自害

いせう女の道たつてふれど

家名相續のため花蝶とむ

つとぞ育て親の杖をうて恩

義とら身をか捨てし氣ま

てありせん孝道おそむる謹むべし



廣信堂

孝者高田俊二

大正六年九月